

ミカンコミバエの再侵入防止 にご協力お願いします。

ミカンコミバエは、主に果物等に寄生する大害虫ですが、1986年には沖縄県全域から既に根絶しており、現在日本では生息していない虫です。しかし、海外では今でも生息しており、台風等の風やクルーズ船等の人や物流により、再侵入する可能性があります。それを防ぐため、沖縄県では関係機関と連携して、現在でも継続して下記にある誘殺板を設置して予防防除を行っています。ミバエが再侵入し、再発生した場合、甚大な被害を引き起こすとともに、寄生する野菜・果実の島外への移動が制限される可能性があります。

そのため、誘殺板の街路樹や庭先での設置へのご理解・ご協力、また誘殺板には触らないようにお願いします。



再侵入防止対策のために誘殺板を設置しています。

★成虫が寄主植物の果実に産卵し、卵からかえった幼虫が果実を食害します。

被害果実

グアバを食害する幼虫



果実内の幼虫

マンゴー



連絡先

- 沖縄県病害虫防除技術センター：098-886-3880
- お住まいの市町村